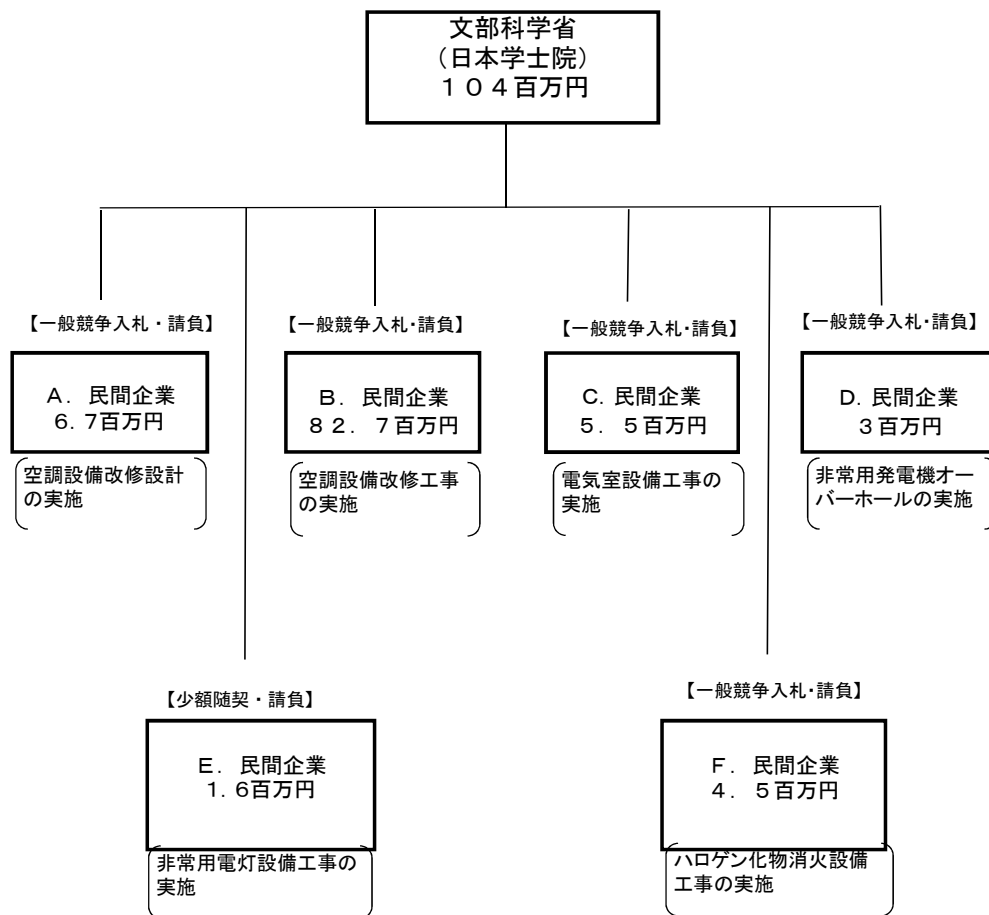


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	日本学士院会館施設整備		担当部局庁	研究振興局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始:平成24年度～ 終了(予定):—		担当課室	振興企画課	振興企画課長 生川浩史		
会計区分	一般会計	政策・施策名	—				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	日本学士院法		関係する計画、 通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	日本学士院会館は、竣工後約40年が経過しており、各所の老朽化が著しく、改修が必要となっている。特に空調設備、電気室設備、防災設備の劣化状況は深刻であり、事業の運営にも支障を来している。 なお、同院会館では、天皇后両陛下や秋篠宮同妃両殿下などが御臨席される各種授賞式、日本学士院の重要事項を決定する例会や各委員会、一般市民を対象とした公開講演会等で使用されており、それら行事を支障なく円滑に行い、火災等の災害拡大を防ぐための措置として、早急な対応が必要となっている。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	(1)空調設備更新:授賞式に暖房が停止する等の故障が頻発しており、また経年劣化により空調性能が著しく低下しているため、空調設備を改修する。 (2)電気室設備更新:法定点検等で劣化などの指摘を受けている受変電設備内の各種設備の更新を行う。 (3)防災設備更新:各種防災設備(非常用発電機、非常用電灯設備、ハロゲン化物消火設備)は、経年劣化が顕著であり、法定点検等で更新・改修の指摘を受けているため、早急に更新等を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	—	—	104	—	—
		繰越し等	—	—	▲104	104	—
		計	—	—	0	104	150
	執行額	—	—	0	—	—	
	執行率(%)	—	—	0%	—	—	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	日本学士院会館の各種設備を更新することが目標であり、定量的な数値は示せない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	老朽化している空調設備、電気室設備、防災設備の所要箇所を改修・更新する。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—
				—	()	()	()
単位当たり コスト	104(百万円/式)		算出根拠	工事一式内訳 【空調設備改修設計費6.7百万円+空調設備改修工事費82.7百万円+電気室設備工事費5.5百万円+非常用発電機オーバーホール費3百万円+非常用電灯設備工事費1.6百万円+ハロゲン化物消火設備工事費4.5百万円】			
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	—	146百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」150百万円			
	施設施工庁費	—	4百万円				
計		150百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・日本学士院会館は、皇族御臨席の各種授賞式や、一般向けの公開講演会、シンポジウム等、学術の発展に寄与するため必要な事業に利用されている。本事業は施設の安全性等を確保するために必要な改修工事であり、国として実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・整備対象となっている設備について、会員や有識者等で構成される会議を開き、工事範囲や効率的・経済的な工法等について検討を重ね、真に必要なものに限定するよう努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・日本学士院会館は、上述したような、学術の発展に寄与するため必要な事業に有効に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	今後とも関係機関との連絡調整を密に行うことにより、整備計画に基づく着実な事業の進捗を図り、工事発注に当たっては一般競争入札を行い競争性の確保に努めるなど、本事業予算を適切に執行するように努める。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、日本学士院会館の空調設備、電気室設備、防災設備の更新等を行う事業であり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 当該事業は、平成24年度予算の全額を平成25年度へ繰り越していることから、計画に基づいた適切な予算執行に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	本事業は、平成24年度補正予算により措置された全額を平成25年度に繰越して執行中であり、整備計画に基づき事業は着実に進捗している。今後とも、一般競争入札の実施により競争性、公平性、透明性の確保を図るとともに、設計仕様の再点検による改修事業の効率化を図るなど、より適切な予算の執行に努める。					
備考						
日本学士院ホームページ: http://www.japan-acad.go.jp/						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-0026

※平成24年度執行実績なし(一部契約締結済)。
なお、当該資金の流れは、予算積算上において
想定される資金の流れを記載したものであり、実際
の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 民間企業			E. 民間企業		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設施工庁費	空調設備改修設計の実施	6.7	施設整備費	非常用電灯設備工事の実施	1.6
計		6.7	計		1.6
B. 民間企業			F. 民間企業		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	空調設備改修工事の実施	82.7	施設整備費	ハロゲン化物消火設備工事の実施	4.5
計		82.7	計		4.5
C. 民間企業					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	電気室設備工事の実施	5.5			
計		5.5	計		0
D. 民間企業					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	非常用発電機オーバーホールの実施	3			
計		3	計		0